

稲グリ新聞

発行 早大グリーンクラブOB会
稲門グリーンクラブ
編集 藤原 信二
加藤 信二
加藤 信二
加藤 信二
加藤 信二
〒192-12武蔵村山市大南
2-26-12 藤原信二郎方
TEL (0425) 65-1839
(毎月1日発行)

メンバーの協力で練習準備完了!
さあ、本格練習に突入しよう

演奏マネージャー 土屋 信吾(四四)

七月のOB四連・稲グリ演奏曲「ウエストサイド・ストーリー」を素晴らしい演奏にするために、多くのメンバーが積極的に協力してくれています。平成元年一月からの練習開始以来、わずか二ヶ月足らずですが、その協力の模様の一部を紹介したいと思います。
◎浅井君(五二)
現役時代に使用した同楽譜の提供(他に十数名に依頼したが音信不通)
◎石原先輩(三五)
同楽譜一八〇セット(延べ六八四〇ページ)のコピーと製本。現役岡君(四年)と土岡君(三年)が手伝ってくれた。

◎飯田(二八)平井(二九)先輩素早い楽譜書き直しとリフオームの曲の現役演奏テープのダビング(メロイ・イン文化放送一〇〇本)
◎安斎君(四七)各パート別、ピアノ伴奏練習テープ(メロイ・イン ヤマハ)
◎小久保君(五〇)現役時代の曲を演奏した同期及び下級生への練習参加呼びかけのゲキ文
◎伊東君(五三)同期会の集合場所を東混練習場、会場を「庄や」とし、実行した。(但し練習参加は残念ながらゼロであった。)

稲グリ 活動日程

2月28日(火)	練習	18:30~21:00	東混練習場
3月7日(火)	"	"	"
10日(金)	幹事会	18:30~	D証券会議室
11日(土)	年度幹事総会	18:30~	稲門倶楽部
14日(火)	練習	18:30~21:00	東混練習場
22日(水)	OB四連マネ会	19:00~	IBM会議室
28日(火)	練習	18:30~21:00	東混練習場
4月4日(火)	"	"	"
8日(土)	~9日(日)		第4回「稲グリ・ゴルフコンペ」
			東相模カントリークラブ
11日(火)	練習	18:30~21:00	東混練習場
15日(土)	特ステ「オラトリオ」合同リハーサル	13:00~	場所未定
17日(月)	"	"	"
18日(火)	練習	18:30~21:00	東混練習場
25日(火)	練習	18:30~21:00	東混練習場
27日(木)	オラトリオ・ゲネプロ		時間未定
			両国国技館
28日(日)	特ステ・ボニー結成30周年記念「TEPCO 1万人のコンサート」オラトリオ「ヤマトタケル愛と平和への出発(たびだち)」	15:00開演	両国国技館
5月2日(火)	練習	18:30~21:00	東混練習場
■以下、毎週火曜日に加えて、随時「臨時練習」を予定			
3日(祝)	東京六大学合唱連盟演奏会	ゆうばうと	
4日(祝)	"	"	東京文化会館
6月17日(土)~18日(日)	稲グリ強化合宿		河口湖・コニシ
24日(土)	東西四大学合唱連盟演奏会		東京文化会館
25日(日)	"	両日とも	東京文化会館
7月2日(日)	第2回大学OG合唱団合同演奏会		サントリー大ホール
23日(日)	第7回東西四大学OB合唱連盟演奏会	13:30開演予定	東京文化会館
■オラトリオの日程変更にご注意、4月5日の特ステは中止			
■早大校友大会は5月の連休中であるが詳細未定			

「第7回OB四連」ステージ構成固まる

各団演奏曲決定、合同ステージも日本民謡に統一

OB四連マネ 清水 実(三八)

この様に、幅広い年代に亘ってご協力いただいています。過去には多分なかったこととして、練習出席延べ人数も八十名に迫ろうとしています。しかも、山本(五七)、阿部(同)の両君が、とても良い練習指導してくれていますが、練習場も熱気にあふれています(ただ、少々私語が多い気がします)。

永年の念願であった、いい練習場が稲グリで出来るようになったこと

二月八日(木)夜、大手町センタービルで六回目のOB四連マネージャー会議が開かれ、七月の第七回OB四連演奏会の概要が固まつてきましたので、以下要点を報告いたします。(出席七名)

「個別ステージすべて決定」
「クロアチア」
一月夜孟宗の「四」
指揮 曲 北原白秋
多田武彦
森本 潔

とはメンバー一同の一番の喜びだと思えます。今回は自宅練習テープも完備していますので、参加しやすいと思います。ステージで思い通りに歌えなければこれ程つまらないことはありませんし、稲グリの名演奏も期待できません。フルバンド付の「ウエストサイド・ストーリー」こんな機会を逃す手はありません。どこかの募集広告のようですが、初めての方大歓迎です。

守唄「中国地方の子守唄」
田小唄「音戸の舟唄」などが候補曲として上がっている。
■「最上」も「斎太郎」もソロが入るので四曲ともソロの曲を選び、指揮とソロは別の団から出したほうが面白い、との意見あり。
《合同練習予定》
東京文化会館リハーサル室のうちNo.1を予約
六月三日(土)一三時~一六時半
七月九日(日)一三時~一六時半
右記日程で指揮者の都合に問題はないが、また、他団体の演奏会などと重なっていないかを確認して決定する。
■大阪の合同練習は最低一回行おう(六月三日以降がよい)。練習場所・日時などは大阪に任せる。
■名古屋に確認して可能であれば名古屋での練習も考慮する。
※このため、大阪・名古屋の各団の窓口担当者を決定し連絡する。

年頃からメンバー期待の「ウエストサイド」の練習に入っており、演奏予定六曲のうち、現在「サムウエア」・「マリア」・「トゥナイト」の譜読みをほぼ終えた。比較的シンコペも普通で取り組みやすいが音程は難しい。残り三曲も難曲なのでテープ等による予習、復習は欠かせない。ステージ経験者の早目の練習参加が望まれている。ちなみに、現在練習参加中の若手メンバー(五〇年卒以降)は次の通り。「あいつが出てくるなら俺も！」に期待したい。
《トップテナー》
武内 正(五二)
重政 伸(五三)
安宅 望(五七)
石川 了(六一)
《セカンドテナー》
上山 淳(五三)
加藤 久雄(五六)
山本 正洋(五七)
《バリトン》
山本 広士(五五)
川窪 洋(五六)
川元 啓司(五八)
平賀 英彦(五八)
岩淵 靖宏(五八)
《ベース》
小久保 操(五〇)
山下 修(五二)
伊東 孝(五三)
福島 敬(五五)
堀内 統(五七)
阿部 滋(五七)
常見 晃(五八)
佐々木 伸(五九)
青木 伸行(六一)

Westside Story

作曲 L. パーンシュタイン
編曲 前田 憲男
I Jet Song
II Maria
III Tonight
IV Cool
V Somewhere
VI Quintet
指揮 堀 俊輔(50)
伴奏 早稲田大学ハイサイエティ・オーケストラ

《合同ステージ》
前回は日本民謡に統一したらどうかという意見強く今回それに決定した。曲目はステージのバランスを考慮しつつ次回決定する。■最上川舟唄と「斎太郎」はほぼ決定。あと二曲は比較的静かな曲を考える。
■次回、各団候補曲を二曲ぐらい持ち寄る(楽譜も)。「五木の子」

《チケット席割りについて》
約四〇〇万円のチケット売上げを目標とする。
■席のランクと料金
S 二五〇〇円(指定)
A 二〇〇〇円(指定)
B 一五〇〇円(自由)
■各団割当て(枚数比)
早慶:同:関
2:2:1:1
次回マネ会三月二日(水)午後七時
大手センタービル(仮)
(以上)

出席状況

	1/11	17	24	31	2/7	14	21
T ₁	12	7	5	11	11	8	8
T ₂	10	7	12	14	12	9	10
B ₁	10	7	7	11	9	9	8
B ₂	16	13	13	15	13	18	12
	48	34	37	51	45	44	38

「ハミダシ情報」一昨年九月にハワイに転勤したB₂加納敏さんが二月二十一日の練習にヒョッコリ出席。「別に大喪の礼に出席のため帰国したわけではありません(笑)。稲グリがハワイに演奏旅行に来るのなら、赴任期間を伸ばしてもお手伝いしたい」の挨拶に一同感激。「庄や」も一段と盛り上がった。

特ステ

日本のオラトリオ創りに

参加しよう

担当マネージャー 安斎 真治(四七)

四月に延期になったボニー結成三十周年の特ステに参加しよう。練習日は別記(本紙第一面参照)の通り。楽譜は練習場に用意してあります。また、練習用テープも間もなくダビングができてお配りする予定です。よろしくお願ひします。詳細は追って。

ボニーからの手紙

稲門グリーの皆様

来る四月二十八日(金)、両国国技館において日本音楽界の大イベントが行われます(稲グリ新聞前号お知らせ分が日程変更となりました)。

我々ボニージャックスは今年、結成三十周年を迎えました。長年全国のアマチュアコーラスとの交流を続けてきた我々は、これを記念して合唱とオーケストラのため



福井家・福井自動車にチョット恩返し

福井自動車(株)四十周年記念パーティー特ステ出演

二月三日(金)夜、稲グリ福井会長(二九)の経営する福井自動車(株)四十周年記念パーティーが大手町のパレスホテル(ロイズルーム)開かれ、稲グリが特ステの友情出演をした。参加した四十三名のメンバーは、日頃稲グリが絶大なるお世話になつてゐる福井家、福井自動車に少しでも喜んでもらえて、恩返しが出来たらと控室での練習にも熱が入り、演出の打ち合わせも宴席の特ステには念入りに行われた(出来は別)。



岡村さんに脅され、いやエスコートされながら挨拶する福井夫人

二月三日(金)夜、稲グリ福井会長(二九)の経営する福井自動車(株)四十周年記念パーティーが大手町のパレスホテル(ロイズルーム)開かれ、稲グリが特ステの友情出演をした。参加した四十三名のメンバーは、日頃稲グリが絶大なるお世話になつてゐる福井家、福井自動車に少しでも喜んでもらえて、恩返しが出来たらと控室での練習にも熱が入り、演出の打ち合わせも宴席の特ステには念入りに行われた(出来は別)。

先輩から一言

だれもが親しんでいる歌にこそ、大きな感動の心を注いで欲しい。彼はそれができる音楽家である。

岡村喬生

日本の心を歌う...山本さんの歌を聴いていると「これはクラシックだ」とか「ポピュラーだ」とかの、枠組そのものが無意味に感じられます。ボニージャックス(玉田元康)



後輩から一言

山本健二バリトンリサイタル
日時 平成元年3月15日(水) 午後6時30分開場 7時開演
会場 宝塚バガホール(阪急宝塚線清荒神駅前)
演奏曲 「この道」「赤とんぼ」「さくら貝の歌」「初恋」など日本の歌17曲
伴奏 萩原 照彦
賛助出演 女声合唱団「クローバーエコー」
入場料 1,500円
主催 稲門グリークラブ・大阪稲門グリークラブ
問合せ 富永 侃(35) ☎0797-84-8737(宝塚市栄町1-1-9) 0797-84-8030(夜間)

山本健二さんが 関西で初の「リサイタル」

成功に向けて応援しよう

東京で五回、故郷の福岡でも数回の単独リサイタルを開いている稲グリ指揮者の山本健二さん(三一)が、三月十五日(水)夜七時から宝塚市のバガホールで一バリトンリサイタルを開く。

山本さんは関西で歌うのは初めてとあって、張り切っている中にも緊張気味。他とは少し違った反応を示す関西でのリサイタルが是非成功するよう、稲グリとしても精一杯応援したい。

OB四連等に向けて 幹事会を招集します

幹事長 加藤 晴生(三七)

当面の諸活動の決め込みと準備のため、マネージ部門、演奏部門合同の幹事会を三月十一日(土)午後六時三十分より大和証券会議室で開きます。議題は次の項目になる予定です。奮ってご出席ください。

- 第七回OB四連関係
合同曲、指揮者等の選定
臨時練習日の検討
関西、名古屋地区との連絡
プログラム制作、広告集め
チケット販売体制

3月11日

山本健二リサイタルの件
ボニー特ステの件
若手増強策について
海外演奏旅行について
愛唱歌集の編纂
OB四連以降の活動等
以上

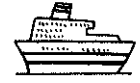
年度幹事総会のこと

年度幹事担当マネ 玉崎 洋一(二七)

すでにご案内の通り、三月十日(金)午後六時三十分より、今年度初の年度幹事総会を赤坂・稲門倶楽部で開催します。是非ご出席ください。

関西学院グリークラブ 九〇周年記念式典・祝賀会のこと

関西学院グリークラブは一九八八年創部以来、今年で九〇年を迎え、二月二十六日(日)、大阪梅田の新阪急ホテルで記念式典と祝賀会を開催した。



四団溶け合った 「ひやひやファミリーコンサート」



一致協力で時間を克服 楽しいコンサート作りに成功!

東西四大学OB合唱団による「ひやひやファミリーコンサート」が二月四日(土)、大阪森の宮の大阪市立「ピロテイルホール」で開かれた。プログラムは第一部が各団演奏の四ステージ、第二部が合同演奏ステージの計五ステージ。圧巻は第二部。曲の間に各団から芸達者、プロの司会者等が次々とマイクを握り、会場を沸かせ、果てはステージに福引抽選器を持ち出して、各団から提供された贈り物(沖縄旅行券など)を豪華なものをお客にプレゼントするなどファミリーコンサートにふさわしく、また、四団溶け合った和やかな進行。ミニOB四連ともいうべきこのコンサート、準備期間の短さをもとめせず各団ベテランのスムーズな協力があって、まずは成功裡に終演となった。

梁山伯には一〇八人の豪傑がいたという。武芸十八般は申すに及ばず、兵法知略、妖かしの術まで使う者が集まっていた。

東西四大学OB合唱団によって開かれた「ひやひやファミリーコンサート」は、年の瀬もすつきり押し詰まった昨年末から二月四日まで、実動正味二十日間足らず、練習の仕上げは勿論のこと、広告取りからチケットの販売、印刷から宴会まで、やつぱり四連OBというのは文武両道猛者ぞろい、本当に凄い豪傑集団だと改めて知らされた。

昨年は思い出深いイベントも多かったけれど、一方クローバーの楠本幹事長や新月会の亀井マネージャーなど親しかった人が亡くなった。特に上海演奏旅行の一週間前に突然練習場に現われて一緒に歌った亀井さんがその半月後に逝ってしまったという一きつとお

ひやひや水滸伝

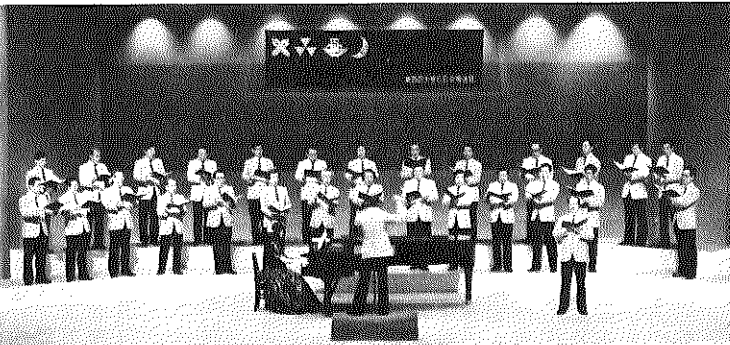
大阪稲グリ幹事長 豊田千秋(三五)

別れに来たんだなあ...などと考えるに足らぬ。出来るだけ多くの回数、それも楽しく会いたい。そんなつもりで音頭をとった今回のファミリーコンサートだった。お陰でこの人にもこの人にも会えた。忘れかけていた曲を思い出して、走馬燈のようにエピソードが蘇った。そしてみんな喜んでくれた。

新月会	ニグロ・スピリチュアルズ	4曲(約35名出演)
慶応ワグネル	日本の歌	6曲(約30名出演)
関西OB合唱団	日本民謡集	5曲(約45名出演)
クローバークラブ		(31名出演)
大阪稲グリ	オンステ総計	140名余り

《演奏曲》

- IVステ「上海演奏旅行の思い出」
- OB-LA-DI
- OB-LA-DA (J. レノン & P. マッカートニー)
- 天までとどけ (さだまさし)
- 鳥 (詩・川崎洋、曲・新実徳英)
- Memory (A. L. Webber)
- 故郷的云(故郷の雲) (詩・小 軒、曲・澤 健常)



大阪稲グリステージ「Memory」ソロ=P. フィンケ

大阪稲グリ・オンステムメンバー一覧

指揮・藤野充(40)		ピアノ・小道久仁子 (計31名)	
《T ₁ 》	《T ₂ 》	《B ₁ 》	《B ₂ 》
山路 洋平(32)	中岡 敏雄(12)(東京)	豊田 千秋(35)	永杉 義一(28)(東京)
坂場 孝之(35)	鎌田 龍児(35)	富永 侃(35)	辻 寿(34)
小俣 泰英(38)(東京)	関口 教和(37)(東京)	三宅 昇(35)	松波 孝雄(35)
貝塚文一郎(39)(広島)	池野 亮一(39)(盛岡)	坂口 達也(39)(東京)	阿部 良行(41)
有田 直之(41)	小梶 勝(39)	西 宏昌(43)	柿沼 郭(53)(名古屋)
穎原信二郎(42)(東京)	田村謙之助(39)		阿部 滋(57)(東京)
市橋 信男(50)	浅野 幸伸(52)		道浦 俊彦(59)
嶺重 淑(62)	内山 成人(62)		P. フィンケ
			(プリンストン大卒)

毎度のことながら東京からの手当メンバー、感謝です。聞くところによると翌二月五日の「一ぼのコンサート」まで中岡大先輩(一三)はじめ三連チャンの方も多数とか、尊敬というおうか、呆れるというおうか、やつぱり好きなんだなあと感じます。ほかにも盛岡からの池野君(三九)、名古屋からの貝塚君(三九)、名古屋から柿沼君(五三)等にも大感謝です。

■熊猫刑事のやつぱり事件簿

「くすぶつたコート事件」
ひやひやコンサート始末記
文・浅野幸伸(五二)

まいどおなじみ、曾根崎警察署の熊猫刑事でやんす。あの中国演奏旅行(昨九月)以来、久しぶりに大阪稲門が活動するつちゅうんで、わては大阪城の近所の一森の宮ピロテイルホール「ちゅう所までやつてまいりました。

なんでも、次の日の「一ぼのぼのコンサート」へいわゆる阿部ママとその夫(ベイス・四一)のたくらみ)に引かれて、何とか安う婦国演奏会も開こうちゅう発想がOB四連のファミリーコンサートとしてこの「ひやひやコンサート」になつたちゅう、何ともエグい演奏会でおます。

さて、張り込みをしておりますと、日本各地から続々と、あのバスポート一六三事件の某坂口はん(三九)・特に名を秘す、あのメガネ事件の池野はん(三九)・ポストンバッグ騒動の小俣はん(三八)やら、懐かしい顔が集まってくるやおまへんか。わても去年のあの旅行を思い出して、思わず顔がほころびました。

演奏会のほうは何か無事終わったようでおますけど、やつぱり事件が起つたんですわ、やつぱり室に帰つてみたら、なんや、コゲ臭いんですわ。コートがくすぶつとるんですわ。そろそろあんな、「窓をあけろ」「煙を逃がせ」と大騒ぎですわ。まあ大事に至らなんでほんまにホッとしましたんで、何んや狭い部屋やつたんで、何気なしにコートに置いてた所がストープの上やつたわけですな。まあ、早うに気がついて不幸中の幸いでよろしゅうおました。

そやけど、稲門さんだけやなしにクローバーさんもワグネルさんも新月会さんも、みな嬉しそうに歌うてましたなあ。打上げも寄せしてもらいました。打上げも寄せしちゃう。時間忘れて過すちゅううんはこのことや思いましたわ。七月に東京でこれの本番やそうてわても署から経費出してもらて東京出張や。決めました。あんじよう頑張らや!

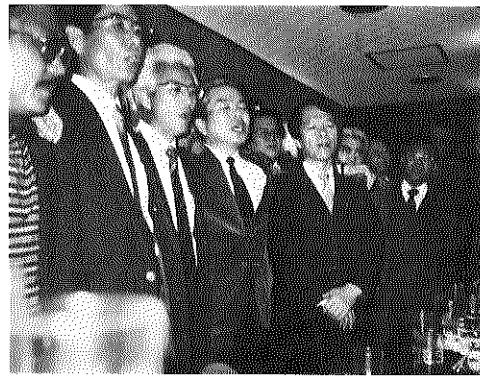
「ハミダシ情報」「ひやひやファミリーコンサート」の打上げ会場、何とメッセ入り前のナブキンが。祝・ひやひやファミリーコンサート云々「七月二十三日、東京文化会館で又お会いしましょう、待ってるヨー 稲グリ清水実」とある。ニクい仕掛け人はクローバーの西村さん(四一)。謝々。

《三十六年卒同期会》

「三六会」長沢歓迎会—延々五時間

井上 勝弥(三三六)

十一年振りに長沢が、カイロから帰って来た。鹿島建設エジプトで、数々のビッグプロジェクトを手懸け(中でも、稲グリ新聞第六十号で田君が報告した、昨年十月完成のカイロ教育文化センターは最大級)その一方では、稲グリメイソールベントに実によくスケジューリングを合



わせ、しばしば帰国してはいたが、このたびは晴れて永久帰国となったことは、我々稲グリにとっては、勿論のこと、家族にとつて本当に良かった。長いこと、本当にご苦労様と言いたい。早速「三六会」(三十六年卒同期会)による彼の帰国歓迎会を一月二十一日に実施した。当日は土曜日である藤田が、よく利用している銀座の店を休日オープンさせて、見事貸し切り。同期十六人が集まった(内奥方同伴七人)。中には、卒業以来初めて会ったという信じられないケースも。何はともあれ乾杯。勿論長沢指揮によるクラブソングで、乾杯の寸前に十六人が絶妙なタイミングですべり込んで来た。長沢夫妻の帰国挨拶の後を受け、「各自近況を三分以内でスピーチしてもらおうからまとめておくように」と幹事が指示して、「正式」に飲み始めたら、たちまち出る出るわ出るわ、得意のカラオケ。皆現役の頃より数段うまくなっている(奥方連の評判

新OB諸君、四年間で苦勞様

第三十八回早稲田大学送別演奏会を聴いて

現役担当マネ 佐々木 豊(五九九)

小雨降る二月十七日(金)、池袋の豊島公会堂で開かれた現役OBの送別演奏会を聴いた。空模様に加え、ウィークデイの五時半開演とあって会社勤めのOBの来場率は極めて悪く、顔見知りのOBは十人いるかないかであった。(連絡不届届で稲グリから新OBへは花束贈呈がなかったことは現役担当マネとしてただただ陳謝の他ない。)したがって、会場を埋めたのは殆どが交流のある合唱団関係であるように思われた。特筆すべきは岡村喬生先輩(二九九)と上田稔早大OB会長(母校教育学部教授)が、それぞれ多忙な中、足を運ばれたことである。

各ステーションはいつもながらの送別の風景であるが、今年ちょっと気になったのは、時折素人にも分かる音程の上ずりやぶら下がりがあつた点である。新生ワセグリの課題の一つとして頑張つて欲しい。第一ステーションの愛曲曲集では、新OBの多くがソリストとして起用された。最後の花道を飾る幕開けだった。佐藤毅君(現役新部長、四年)の緊張したたかどしい司会ぶりも妙に面白く、また、新OB某君の演奏中楽譜バラまき事件も笑わせた。第二、第三ステーションは例によって新OBだけの「おあそびステーション」と福永陽一郎先生による「思

《四十一年卒同期会》

「宴想会」故羽山展生氏を偲ぶ

鈴木 絃輝(四二)

昭和四十一年卒のメンバーは「宴想会」と称して同期会を開催してまいす。今回、一年三月ぶりに平成元年一月十九日、六本木プリンスホテルで行われました。当日の出席者は十九名。トップ・有田、市川、小林、小松、田中、セカンド・佐藤、本田、山口、横尾、バートン、阿部、坂井、常盤、山本(秀)、山本(信)、ペリス、鈴木(絃)、水上、吉村。特別ゲストとして頼原、松島(共に四十二年卒)

「野郎会」こちらもも延々五時間

三雲 孝夫(四〇)

「野郎会」恒例の新年会は、期日を昨年十二月の時点で決めたため、陛下に配慮し、二月四日(土)にずれ込んだ。今回は、昨秋落成した2T鈴木(嘉)の事務所ビルを会場とし、設営はケータリング会社に委ねて、設備はケータリング会社に委ねて、い出のステーション。先生のお元氣な様子で嬉しい。十六名という小人数ながら多士済々の顔ぶれで常にOBを盛り立ててきた新OBに拍手。

たため、ワイン中心となった。帯広からの1T古沢、福井から大量のカニと酢醤油持参の2B前波、久し振りの1B吉村等同期二十四名に、1T鈴木(賢)夫人、長男の悠太君、1T広西夫人、2T鈴木(嘉)夫人、2B大泊夫人も交え、例年以上に賑やかな会だった。席上、各自の近況報告タイムでは時間制限なしのため、延々話の止まらない者、たつた一言ですませる者等さまざまだったが、配属等の変更のあつた者が比較的多い年だったようだ。

新生・現役OBによる最終ステーションは多田武彦の「富士山」。この曲はどうしてもトップテクノロジーの負担が大きい、よく健闘していた。ワセグリの伝統の「パトリック(ト?)」を受け継いでさらに精進して欲しい。最後に一言。新OBの諸君、四年間本当にご苦労様。思い出しは大切に、新たな人生を輝かしくはばたいて欲しい。そして男声合唱が本当に好きなら、決してここで止めることなく、必ず稲グリに顔を出して欲しい。首を長くして諸君を待つ。(諸君が残念ながら経験出来なかつた海外演奏旅行も、きっと稲グリに入れば味わうことが出来る。)それではまた。

- 1 T 佐々木、鈴木(賢)、広西、藤本、古沢
- 2 T 稲山、井上、川口、工藤、鈴木(嘉)、中川
- 1 B 相場、亀井、菊地、菅原、磯部、吉岡、吉村
- 2 B 磯部、大泊、清水、杉山、梶本、前波

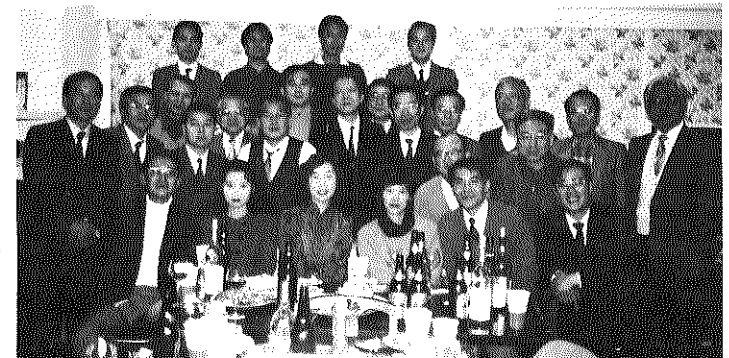
《四十一年卒同期会》



編集後記

今号は紙面刷新で六段組みとしてみました。大きさは従来と同じです。したがって、文字が小さくなっています。でも、本物の新聞の文字よりは大きい筈です。これは増頁せずに記事を書くため、制作経費の節減を図るためですが、いかがでしょうか。ご意見お待ちします。

S編集子は母校の人事課勤務のため入試事務の真ん中で、大喪の礼も日曜日関係なく学校に縛られ、1編集子はスキーでトンズラの作業。何とか予定通り終えてホッとしています。でも、だんだん発行が遅れてきていますので、来月から早める積もりです。今年も暖冬なので「お花見会」は三月まつあたりかもしれません。ソロソロ心の準備をしましょ。それでは。(E)



《四十一年卒同期会》